

■受験アドバイス

関東は曇りの日が続いています。体調管理を意識しましょう。現在の皆さんは、険しい山を登っている気持ちでしょう。得点がなかなか見えない。見えたようで学習を進めていくとまた消える。蜃気楼です。理解できた科目も次の科目で知識が消えていく。皆さん誰でも同じですよ。繰り返し、条文に戻り読み込むと「そうなんだ」という当たり前のことが見えてきます。

ここで役に立つのが道場の「123」と「100の法則」です。繰り返し、繰り返し、この2つの講座のテキストを利用しましょう。必ず、勉強の効果が出てきます。

■自信と覚悟

いよいよ知識の総まとめの時期に入りました。ここで、必要なことは「自信と覚悟」です。模擬試験等で、問題文を解いていくと、難易度の高い知識を要求される問題や、時間がかかる事例問題がでてきます。ここはある程度受験と割り切り後回しにする箇所です。

6月、7月は、自分が今まで勉強した知識を整理して、記憶する時期です。自分を信じて、合格点を取る勉強に徹する。そして、覚悟も決めましょう。

■試験に強くなりましょう。

1. テキストや問題集で見たことのない問題に対して、動揺してはいけない。
2. 比較的簡単といわれている箇所は絶対に得点にする⇒甘さと油断は大敵。
3. 過去問題集や予想問題集を繰り返し解くことで、傾向がわかります。
各問題を解き相手のくせを見抜くために、問題に慣れましょう。
4. 誰でもできる問題、得点しなければいけない問題は合否のポイント。
5. 初めて見る問題はとりあえず、横に置く。今まで勉強した知識を活用できる問題を解く。
6. 答案練習会で時間配分などの練習を積む。
7. 勘違い、読み間違いはもったいない・・・しっかりと問題文を読みましょう。

■体調管理

7月に入ると本格的な夏です。暑さが続きます。体調管理が大事です。

睡眠はとれていますか？食事もしっかり 3 食とりましょう。冷たいものが欲しくなりますが、温かいうどんやおそばを食べましょう。

お茶等も常温にしましょう。睡眠時間確保も大事です。

■試験日まで勉強

試験日までの 1 日 1 日はあっという間に過ぎていきます。この時期は難問等を避けて、基本問題を中心に勉強を進めてください。今まで勉強した内容の復習が一番です。基礎固めに戻りましょう。

①問題文をしっかり読みましょう。

②設問の内容が理解できているか。例えば、保険関係であれば、支給要件です。どんな場合の保険事故？？給付の内容は？手続きは？一連の流れに戻りましょう。

③演習の内容で必要な枝と捨てる枝を区別してください。難問と考えられる事例問題や、判例問題はとりあえず後回し。すべては 8 月本試験のためです。感で取った問題は本試験では？？です。自分の理解できていない箇所を明らかにしてくれるのも演習です。せっかく解いた問題はしっかり復習して本試験で生かしましょう。

★問題文の落としどころをつかむ

問題文の落としどころがあります。

1. 数字の誤り
2. ～できる～できないの文末処理。
3. () の除く、含む、文中の含む
4. 翌日、日、以下、未満、超える

今後の演習問題や、過去問を解くときは、問題文のポイントを意識しましょう。末文、主語、数字、翌日等です。誤りの問題文だけ解いてみるのも作戦です。

★山下道場の「徴収法 1 日講座」「主要 6 科目択一問題」「前日講座」

山下の一押しは「徴収法 1 日講座」です。労働法の合格のポイントは「徴収法」です。労働法の択一の柱です。労災、雇用保険の上乗せである 6 点をしっかり合格点につなげます。オリジナルレジュメで講義します。道場を受講される方は期待しててください。